

始良市議会だより

あいあいがさ

12月
定例会
No.58

令和7年1月31日発行



p2 新年のご挨拶

p4 「あいら」さん家の家計簿

p7 議員定数と報酬

p8 市民目線で14人が市政を質す

p12 未来に向かう議会

「天高く舞い上がれ」





新年のごあいさつ

議長 小山田 邦 弘

新春のお慶びを申し上げます。

昨年市民の皆さまには市政に多くのご理解とご支援を賜り、ありがとうございます。

今年は戦後80年の節目の年に当たります。その直前に被団協の皆さまがノーベル平和賞を受賞されましたことは、改めて平和の尊さと戦争の悲惨さを考えるきっかけにもなったものと捉えております。

今現在も世界各地で争いが絶えません。戦場の様子を伝えるニュースが流れない日はありません。この節目の年の始まりを改めまして平和を祈念するところからスタートしたいと思っております。

さて、市政には多くの課題がございます。議会も任期最終年度でもあることから、これまでを振り返る全議員対象のアンケートを実施して、議会基本条例で目指す議会・議員の姿がどの程度実現できているのかを確認し、解決策を模索して参ります。

一方で、将来に向けた新たな一歩も踏み出しました。議会のデジタル化に関する取り組みです。議会としての未来像を描き、それを支えるデジタル化の施策を具現化しようとするものです。既にオンラインでの議会と語る会も試験的に実施しております。

今年もまた新たな動きを生み出して参ります。

皆さんの声をお聞かせください



広報広聴常任委員会では、議会と語る会や市民との意見交換会の開催に向けて協議を進めています。

そのため、皆さまのご意見を伺いながら、今後の広聴活動に活用させていただきます。

右記のフォームよりご回答くださるようお願いいたします。



12月定例会ではこんなことが決まりました!



賛否一覧表

(○…賛成 ×…反対 一…欠席)

議 案 名	宇都陽一郎	湯元秀誠	塩入英明	益森隆史	馬場修二	国生卓	森川和美	桃木野幸一	和田里志	小田原優	峯下洋	岩下陽太郎	松元卓也	萩原哲郎	新福愛子	竹下日出志	大坪祐輔	上村親	有川洋美	堀広子	谷口義文	小山田邦弘	賛成	反対
令和5年度始良市一般会計歳入歳出決算認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	※議長は表決に参加しない	20	1
令和5年度始良市国民健康保険特別会計事業勘定歳入歳出決算認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○		18	3
令和5年度始良市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○		18	3
令和5年度始良市介護保険特別会計保険事業勘定歳入歳出決算認定について	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○		17	4
令和5年度始良市介護保険特別会計介護サービス事業勘定歳入歳出決算認定について	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		20	1
始良市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例及び始良市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の件	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		20	1
始良市議会議員定数条例の一部を改正する条例	×	×	○	×	×	×	○	×	×	○	○	×	×	○	×	×	×	○	×	×	○		7	14
始良市議会基本条例の一部を改正する条例	×	×	○	×	×	×	○	×	×	○	×	×	×	×	×	×	×	○	×	×	○		5	16
令和5年度始良市国民健康保険特別会計施設勘定歳入歳出決算認定について	全会一致																						21	0
令和5年度始良市農林業労働者災害共済事業特別会計歳入歳出決算認定について	全会一致																						21	0
令和5年度始良市水道事業会計決算認定について	全会一致																						21	0
令和5年度始良市下水道事業会計決算認定について	全会一致																						21	0
専決処分について承認を求める件(令和6年度始良市一般会計補正予算(第6号))	全会一致																						21	0
始良市職員定数条例の一部を改正する条例の件	全会一致																						21	0
始良市職員の特殊勤務手当に関する条例の一部を改正する条例の件	全会一致																						21	0
始良市営単独住宅条例の一部を改正する条例の件	全会一致																						21	0
始良市水道事業の布設工事監督者の配置基準及び資格基準並びに水道技術管理者の資格基準に関する条例の一部を改正する条例の件	全会一致																						21	0
令和6年度始良市一般会計補正予算(第7号)	全会一致																						21	0
工事請負契約の締結に関する件(始良市蒲生複合新庁舎新築工事(交流棟))	全会一致																						21	0
工事請負契約の締結に関する件(始良市蒲生複合新庁舎新築工事(執務棟))	全会一致																						21	0
工事請負契約の締結に関する件(始良市蒲生複合新庁舎新築電気設備工事)	全会一致																					21	0	

令和5年度 決算審査

569億円の使い道



チェック

一般会計歳出額 **387億330万円**

特別会計歳出総額 **182億3,205万円**

「あいら」さん家の家計簿

●市民ひとり当たりの借金額 **41万円**
(地方債残高 321億4,664万円)

●市民ひとり当たりの預金額 **9万円**
(全基金残高 69億8,601万円)

審査の着眼点

市議会では、皆さんが納めた税金がどのように使われているか、決算審査特別委員会を設置し、第3回定例会終了後（閉会中）審査した結果、全ての決算認定議案を認定しました。

特別委員会での審査にあたっては、総務、文教厚生、産業建設の各班に分かれ、次の5つの着眼点を念頭に審査を行いました。

歳入の確保

収入確保の努力が十分に行われたか

適正執行

予算が計画どおりに正しく使用されたか

費用対効果

投資に見合う成果が得られたか

効率化とコスト削減

無駄を排除し、効率的に予算が使用されたか

説明責任と透明性

住民への分かりやすい説明が行われ、信頼が保たれたか

決算審査総括



決算審査特別委員長
和田里志

令和2年度以降、新型コロナウイルス感染症対策の各種事業が決算にも影響を及ぼしてきました。

令和5年度、新型コロナウイルス感染症が5類感染症に移行したことで、社会経済活動においては、正常化が徐々に進んできましたが、物価高騰や人手不足の影響により、依然として厳しい状況は続いています。

また、※普通会計歳入決算に占める自主財源の比率は28.6%で前年度と比べるとわずかに減少するなど、財政基盤が堅固であるとはいえない状況です。

今回の審査でも、各委員から多くの意見や提言が寄せられました。

それらを参考に、自主財源の確保や効果的かつ効率的な市政運営に取り組むよう要請し、今後も健全な財政運営に努めることを期待し、総括とします。

※ 普通会計とは、地方公共団体ごとに各会計の範囲が異なり、財政比較や統一的な把握が難しいため地方財政統計で統一的に用いられる会計区分である。本市では一般会計・農林業労働者災害共済事業特別会計を合わせたもので、重複額等を控除したものである。

総務班

▼意見や提言

- メンタルヘルス改善の取組は評価するが、早期退職者も増えており、今後は職員定数も含めて注視していくべきである。
- 高等教育機関設置については、方向性や着地点を明確にしていくべきである。
- 観光地Wi-Fi等管理事業は、設置するだけでなく、接続実績を把握して効果を検証し、次の政策につなげていくべきである。

▼評価する点

- 財政健全化緊急対策の最終年度で、全ての数値が改善された。
- 未利用地の処分8件を行い、4410万円の収入につながった。
- 備品購入費において、発注方法を工夫し、およそ200万円の経費削減を行った。
- ふるさと納税は8つのポータルサイトと契約し、寄附額が上がってきている。

文教厚生班

▼意見や提言

- 老朽化している公共施設は、日ごろからの安全確認と計画的な改修等が必要である。
- 「健康チケットあいあい」は、さらなる利用促進の周知徹底が必要である。
- 小山田保育所は老朽化しており、付近を流れている川が氾濫する恐れがあるため、他の公共施設等を利用した移転を検討した方が良いのではないか。

▼評価する点

- 重富中学校はプレハブ校舎の建設により、特別な支援を要する生徒に配慮し、充実した学校生活を送ることが可能となった。
- 蒲生のクス保護増殖事業については、土壌改良などを行ったことにより樹勢が回復している。
- 令和5年4月に発生した乳幼児の事故を受けて、検証委員会の設置や研修等を実施するなど、再発防止に向けて取り組んでいる。

産業建設班

▼意見や提言

- 鳥獣被害防止対策を強化すべきである。
- はだか麦・隈原の人参など本市の特産物を生かせる新規就農者を増やしていくべきである。
- 河川の浚渫工事については、早め早めの対策を行うべきである。

▼評価する点

- 総合運動公園野球場の整備を計画的に行っていくべきである。
- 市営住宅家賃の長期滞納者については、法的な手段も含めしっかりと徴収していくべきである。
- 森林経営管理事業の始良市の森林所有者への意向調査を早めに行うべきである。
- 公営住宅の総合的な課題に対して早急に協議すべきである。
- スマートフォンを活用した道路監視システムを令和6年度に導入し運用されている。
- 人員体制を増員し、道路の改修等が進んでいる。

一般会計補正予算の審査報告

6号補正 3,888万4千円

7号補正 8億963万5千円

補正予算総額 **8億4,851万9千円**を可決!

補正後の令和6年度予算の総額 **383億7,381万3千円**

6号補正(専決処分) ※解散から選挙期日まで期間が短く迅速な対応が必要であったもの

◎衆議院議員総選挙に係る経費 **3,888万4千円**



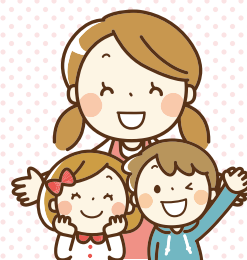
7号補正(児童手当制度の改正や扶助費等の今後の見込みに関する補正)

◎児童手当制度の改正に伴う増額 **1億7,247万5千円**

主な改正内容は、高校生年代までの支給年齢の拡大・所得制限の撤廃

問 児童手当制度の改正により、市の負担は増えるのか。

答 支給額は月5,000万円から6,000万円の増額が見込まれるが、国の負担割合が増えたことで市の負担は減少する見込みである。



◎「布引の滝」遊歩道・橋梁等改修 **522万3千円**

問 県の「魅力ある観光地づくり事業」に基づき、橋梁を含め整備した遊歩道や県から譲渡される滝下デッキ等の維持管理はどのようになるのか。

答 今後、地域の方々と協議を行い、市と協働で維持管理を行うことを考えている。

◎運動公園整備のためのスポーツトラクタ購入 **805万5千円**

問 スポーツトラクタによる効率的な作業方法を検討したのか。

答 小型のトラクタを2台調達する案も検討したが、広い施設内での作業には、大型1台の方が効率的であると判断した。

◎不足が見込まれる公営住宅の修繕費 **400万円**

◎令和7年度新人消防職員への防火衣一式 **260万2千円** など

議員間討議

- 布引の滝の周辺整備された橋梁や遊歩道、滝下デッキなどを子どもたちにも親しまれるよう活用することで、将来的には費用対効果の向上や地域の観光地化を期待する。
- スポーツトラクタの購入について、熱中症対策を考慮し、屋根付き、空調装備などの対応や自動化等による効率的な作業方法も検討する必要がある。
- 予算審査に当たっては、「ゼロカーボンシティ」宣言のまちとして、具体的な温暖化対策が反映された予算となっているかを着眼点としていく必要がある。

条例 市職員定数の増員

主な改正内容は、近年、頻発化・激甚化する自然災害や救急出場の増加に迅速かつ的確に対応するため、消防職員の人員を年次的に増員するもの。

▼主な意見

- 消防力の低下を招かないための増員であり、時機を捉えた適切なものである。
- 人材確保に向け、子どもたちが消防士に憧れを持つようなイベント体験や、求人を学生に広く呼びかけるための工夫も検討していくべきである。

条例 緊急消防援助隊出金手当の支給

異常な自然現象や大規模な事故により重大な災害が発生した場所に出動して実施する救助活動に対して、緊急消防援助隊出動手当を支給することができるようにするもの。

▼主な質疑

- 問 特殊勤務手当以外の時間外勤務手当などの各種手当、旅費等はどうなるのか。
- 答 消防庁長官の指示を受けて出動した緊急消防援助隊の隊員の各種手当や旅費、燃料費等の活動に要した経費は、国などから負担金として対象経費の全額が交付される。

条例 かごしま林業大学校研修生の支援

令和7年4月に開校予定の「かごしま林業大学校」に通学する研修生が市単独住宅に単身でも入居できるようにするもの。

▼主な質疑

- 問 自治会加入など特別な条件設定はあるのか。
- 答 条例では特別な条件設定は考えていないが、入居される際に自治会への加入や地域の行事へ参加を促すこととしている。

契約 工事請負契約の締結に関する件

蒲生複合新庁舎新築工事（交流棟・執務棟・電気設備）に伴う工事請負契約3件の締結に関し、議会の議決を求めるもの。

▼主な質疑

- 問 発注時期としては適切か。
- 答 本庁舎・加治木支所庁舎・蒲生支所庁舎とも当初の整備スケジュールに沿って、適切な時期に発注している。
- 問 3件とも工期が390日と設定しているが、問題はないか。
- 答 建物新築工事は、建築及び設備工事の進捗にあわせて調整を図りながら実施するため、建築部門と設備部門ともに関連する工事であることから全ての工期を合わせる事が理想であると考ええる。



蒲生複合新庁舎の完成予想図

発議 議員定数条例に関する一部改正

次期改選に向けて、現在の定数24人から22人に削減するもの。

▼主な反対討論

- 議会改革推進会議で議論中なので、個々の議員による発議は望ましくない。
- 「定数と報酬」以外に七つの議題がある。その七つの議題を先に議論することで、そこから定数を変更する根拠が見つけ出せるのではと議論している最中である。
- 新たに立候補しようとしている方にとって、定数は問題ではない。強い信念で立候補してくる。
- このタイミングとこのようなやり方に賛同できない。
- ▼ 主な賛成討論
- 「議会と語る会」を開催して、市民の意見を聴く中で定数22人は妥当である。
- 改選1年前には、次回選挙での議員定数を示すべきである。

発議 議会基本条例に関する一部改正

第18条中「議員報酬の改定は特別職報酬審議会の意見を尊重するとともに」の部分を削除するもの。

▼主な反対討論

- この一文を削除することは、市民の声に耳を傾けることにならなくなる。
- 類似団体の議会基本条例とも比較したようだが、本市独自のものが良い。
- 議員でも報酬を改定しやすくする意図がある。むしろ報酬は第三者に公正に審議してもらうべきである。
- 議会改革推進会議で、しっかり議論しあってから発議するという過程がなかった。

一般質問

一般質問とは、議員が市政全般にわたり、市の考えを問うものです。
掲載内容は、各議員本人が質問と答弁を要約したものです。

ただ 市民目線で14人が市政を質す



高齢者支援の充実



問 在宅の要介護者を日常的に介護している家族に対して、介護慰労金を支給する考えはないか。

答 県内各自治体の実施状況や本市における要介護認定者等の状況、支援のあり方などを検証しながら、事業の構築に向けて取り組んでいるところである。

問 高齢者の孤立防止を目的として、三世代同居や近居に必要な費用の一部を助成する考えはないか。

答 三世代同居は、世代間で助け合い、子育て世代も安心して生活ができる居住形態である。本市では、三世代同居の方々に特化した給付サービスは実施していないが、先進自治体の制度について情報収集に努めている。

その他の質問
○働き方改革と業務の効率化
○衆議院選挙の総括と課題



鹿兒島市の子育て世帯の住替え支援

過去の質問の進捗確認



問 ドッグラン整備は。

答 本市の「人と動物との調和のとれた共生に関する条例」の基本理念に合致していることから、第3期始良市総合戦略にも掲げており、今後、財源や適地などを含め検討していく。

問 スケートボードパーク整備は。

答 若者を中心に人気が高まっていることは承知しているが、近隣住民への配慮や利用形態、施設の規模・構造など様々な課題を整理する必要がある。整備の必要性などを含め、引き続き調査・研究していく。

問 高校生への定期代補助は。

答 高校生の通学の現状と課題を整理しながら、どのような方法が効果的な支援になるか、引き続き総合的な視点から検討していく。

その他の質問

○自治会が管理する共同墓地
○旧始良町の歴史的な石碑撤去・移設
○本市の子育て基本条例

通学路等における交通安全の確保



問 道路交通実態に応じ、警察・教育委員会・学校等の関係機関が連携し、ハード・ソフトの両面から必要な対策を推進しているが、現在、取り組んでいる対策について問う。

答 通学路合同点検の結果、ハード面対策では道路外側線引き直しや歩道整備などを行い、ソフト面対策では通学時間帯に警察・PTA等により見守り・立哨・登下校の付き添いなどが実施されている。

空き家数地の適切な管理

問 職員が現地において建物の構造、周辺への悪影響や景観上の観点等から、外観目視により空き家等の状態を確認されているが、竹及び雑草等に対する不適切な管理の空き家の旧町別の件数を問う。

答 本市が把握している適切な管理が行われていない空き家等は、加治木地区21件、始良地区47件、蒲生地区14件である。



市民くらし部
塩入 英明



小山田保育所改修計画

問 確認申請を伴う改修計画があるのか。

答 現時点において確認申請を伴う改修計画は予定していないが、引き続き修繕を行い、施設環境の機能維持に努める。

二地域居住の促進

問 都市と地方に生活拠点を持つ二地域居住を官民連携で促進する取組は。

答 新型コロナウイルス感染症の流行等を契機として二地域居住に対するニーズは高まっており、都市部と地方との間において恒常的かつ継続的な移動及び滞在が行われることから、新たな担い手の確保、地域活性化や魅力的な地域づくりにも資する有効な手段と考える。

その他の質問

○街路樹の維持管理
○桜島・錦江湾ジオパーク



公明党始良市議団
竹下日出志



避難所の環境改善

問 被災者が尊厳ある生活を求める最低基準「※スファイア基準」を導入できないか。

答 避難所支援として、全ての避難者が「我慢しない、我慢させない」避難所体制を目指す。

※「スファイア基準」とは、国際赤十字がまとめた国際基準。



避難所で利用できる段ボールベッド

薬物乱用防止対策

問 医薬品の過剰摂取（オーバードーズ）や薬物乱用についての専用窓口・相談体制は。

答 現在、窓口は県の薬務課・各保健所・県精神保健福祉センターに設置されている。本市は令和7年度、2号館1階に福祉関係窓口を設置する。



公明党始良市議団
新福 愛子



投票率向上のための環境整備

問 投票所への移動支援をどのように考えるか。

答 本市にもコミュニティバスや予約型乗合タクシーもあるが、運行状況など選挙期間中の利用や費用などの確認が必要となる。今後、国の施策や先進地の状況や地域のご意見等を参考にし、投票所の見直しや環境の改善と併せて調査・研究していく。



乗合タクシー・コミュニティバスの無料券添付の日置市の投票所整理券

プレコンセプションケア

問 男女の生涯を通じた健康支援として、思春期以降の若い男女が自分たちの生活や健康に向き合うヘルスケア「プレコンセプションケア」への対応を問う。

答 令和5年度から市ホームページに国が示す手引書を掲載しており、今後、も切れ目のない健康支援を実施していく。

その他の質問

○HPVワクチン接種



市政クラブ始良
宇都陽一郎



ふるさと回帰支援センター

問 地方への移住を支援するこの施設の利用を検討しているか。

答 現在は、鹿児島県のブースを利用して、本市の観光や移住に関するパンフレットを配置しており、本市単独のボックス設置に向けても検討している。

始良市にある5つの駅

問 駅周辺整備についての見解は。

答 市内5つの駅周辺整備については、公共交通の整備として交通結節点の機能強化に努める。また、交通アクセスの利便性を考慮した、コンパクトなまちづくりを推進する。

問 帖佐駅前整備は。

答 駅前広場の区域内に關しては、用地取得は100%であり、令和10年度の完成を目指している。



帖佐駅前広場イメージ図



市民くらし
小田原 優



市・関係団体における 財産管理の遵法性

問 商工会設置の街灯は、一部機能していないが合法的に処理されているか。また、地域住民から苦情等はないか。

答 商工会事務局により県道及び市道、それぞれの道路管理者に更新申請を行い許可を得ている。

また、街路灯への苦情はないが、未点灯街路灯の対応については要望をいただいている。



きょうめい
市道を狭隘化する街灯

公文書管理と入札等

問 『組織に益がない文書類は破棄すべし』との理念から、本市の文書管理について、電子情報操作技術に秀でた職員により構成された、特別な権限を持つプロジェクトチームを立ち上げられないか。

答 現時点において特別な権限を持つ文書管理プロジェクトチームを編成するつもりはない。

その他の質問

○予算編成



市政クラブ始輝
湯元 秀誠



桜島大噴火への備え

問 地域防災計画「火山災害対策編」では、「一般災害対策編」を準用するところがあるが、それで十分か。

答 火山災害対策の具体的施策については大正噴火規模を想定しており、一般災害対策の各施策で対応可能と考える。気象台、各研究機関の調査を注視し、必要な施策を追加していきたい。

問 始良カルデラの地下深部に大正大噴火規模の9割ほどのマグマの蓄積が予測されているが、この情報は理解されているか。また、錦江湾奥会議では住民避難など協議されているか。

答 マグマが蓄積されていることは認識している。噴火の際は、前兆現象の発生から噴火まで様々な現象が現れることから、事前に火山情報を市民へ周知できると考えている。

錦江湾奥会議の防災専門部会では情報共有や情報交換を通じて、円滑な連携や協力体制がとれるよう協議を行っている。



柁城小学校内にある
桜島爆発記念碑



市民くらし
峯下 洋



防災対策

問 避難所運営ゲーム・HUG^{タグ}について、市民への広報はどのように行っているか。

答 防災イベントの会場や自治会など地域活動で行う防災訓練や図上訓練に加え、出前講座などを活用して市民を対象に行っている。

本市としては、今後、地区防災計画策定の一層の推進を図り、この計画を基にした図上訓練と実動訓練を実施し、地域を共に支えあうことを目的としたHUGの実施を検討している。

問 ジュニアリーダークラブの協力要請は。

答 自治会等で実施するHUGへの職員派遣については、調整がつけば可能である。また、中学生、高校生で構成するジュニアリーダークラブ「どんぐり」については、休日や派遣人数などの条件が整えば可能である。



その他の質問

○衆議院議員総選挙の本市の投票状況



市政クラブ始輝
桃木野幸一



小山田保育所の移転

問 今後の整備計画を示せ。

答 施設の移転を含めた環境改善は、園児や職員の安全を確保する上で、有効な選択肢の一つと考える。今後の施設の在り方については、現在、顕在化している課題を分析し、様々な角度から検討していく。



築58年の小山田保育所

公民館の祝日利用

問 公民館は市条例により祝日は休館日となっており、条例を改正して祝日も利用できるようにすべきと思うが、考えを示せ。

答 祝日に開館すると人件費の増加やメンテナンスなどへの対応に困難が生じるため、祝日に開館することは考えていない。

その他の質問

○住吉池の整備
○児童の登校時間
○職員駐車場



みらい始良
益森 隆史



子ども館「ちるどん」

問 開館からの来館者数は。

答 令和6年10月末時点での市内、市外の来館者数は、子どものみの統計で市内が延べ1万1395人、市外が延べ7559人である。また、子育てに関する利用者支援相談件数は延べ332件であった。



令和6年4月開館の子ども館「ちるどん」

小学校区

問 小学校区の見直し協議は。

答 校区の見直しを行う際は、始良市立小中学校区審議会を立ち上げることとしており、地域の考えや意見等を伺うために校区の代表なども委員として審議会に加えたいと考えている。

令和6年11月15日時点において、令和7年度の小学校児童数は市全体で99人減少する見込みである。



有川 洋美



介護離職対策と介護休業

問 本市の介護離職と介護休業取得の現状は。

答 第9期介護保険事業計画作成時に実施した高齢者等実態調査では、介護離職の割合は26.1%であった。

介護休業取得状況は実態調査をしていないため把握できないが、厚労省による令和4年度の調査では、過去1年間で介護休業取得者がいる事業所は1.4%であった。

始良市役所職員においての取得者はゼロである。

問 介護離職に対する対策は。

答 介護休業制度や介護保険サービス等の周知等を充実させ支援を行っている。

令和7年4月1日から改正される

「育児・介護休業法」では、事業主には介護離職防止のための雇用環境整備等が義務化される。事業主に対する介護休業制度の周知にも努めていく。

その他の質問

○小中学校備品購入等の物価高騰対策
○教員の教科書指導書不足対策



堀 広子



農業振興対策を

問 本市の基幹的農業従事者の20年間の推移を示せ。

答 20年間の減少率は52%で、県と同程度の推移で減少している。

問 新規就農者を増やす取組を示せ。

答 新規就農者支援事業・営農指導・営農資金相談等に取り組んでいる。

問 令和5年4月から農地法第3条が改正され、小規模農家や新たに農業を始める方の農地取得が可能になったが、本市の実績と周知方法を示せ。

答 令和6年10月末時点で35人の方が合計505アールの農地を取得している。農業委員会だよりやホームページ、イベント等で周知している。



期待される農業振興

その他の質問

○高校生まで医療費助成を
○学校給食費の無料化

議会改革

未来に向かう議会

もし大きな災害に見舞われたら議会はどう行動するか、指揮系統はどうするか、議案の処理はどのように行うのか。

有事の際、行政サービスに遅延が発生しないよう議会は速やかに審議・採決を行う必要があります。

そのため議会では、令和4年3月に非常事態に備えたマニュアルとして『始良市議会BCP(業務継続計画)』を策定しました。

令和6年12月、議会改革推進会議では予期せぬ感染症や大災害を想定した議会BCPの改定を行いました。

改定内容は、オンラインを活用した委員会運営の検討や、議会災害対策会議の詳細なメンバー構成、市役所2号館3階の本会議場が使用できなくなった際の代替施設の候補等を追記しました。

議会改革推進会議では、これからも本市を舞台とした様々な事柄を想定し、未来の始良市を見据え、今やるべき議会改革に取り組んでまいります。

傍聴席へどうぞ

令和7年第1回定例会は2月13日(木)から開会します。

●場所／始良庁舎2号館 3階議事堂

●車いす席もあります。

議会日程や議会中継は、市ホームページでご覧いただけます。

※2号館エレベーターは利用できます。



表紙の写真は子どもたちの将来への願いを込めて空高く上げられた凧、凧の起源はイカに由来しているそうです。

編集後記

「あいあいがさ」を最後まで読んでいただき、ありがとうございます。

私たち編集委員は、市民の皆さんに、まずはこの冊子を手にとってもらい、次に中身を見ていただき、そして読んでいただくために編集作業を行っています。

今後もこの冊子を見ていただけるように、努力してまいります。

また、議会のことを知っていただくため、インターネットを利用したツールもありますので、そちらも是非ともご覧ください。

岩下 陽太郎

編集・発行責任者

広報広聴常任委員会

委員長
副委員長

馬場 祐輔
大下 陽太郎
岩下 一郎
宇都宮 明
新田 愛子
竹下 隆志
益田 史
和森 志